

7日まで水道週間 「じゃ口から安心とどけ未来まで」

水道管の耐震化と水質管理の徹底

6月1日～7日は「第58回水道週間」です。水道は電気、ガスなどとともにライフラインと呼ばれ、災害時においても「安全な水の安定供給」が強く求められています。市においても、水道について、市民の皆様様に理解を深め関心をもつていただくため、水道事業の取り組みについてお知らせします。

問合せ 水道総務課 0624-1011

水道施設の耐震化

市は、安定して水道水を供給していくため、これまで配水場や水道管などの水道施設の耐震化を計画的に行ってきました。平成26年度に、配水場の耐震化が完了。老朽化した水道管の耐震化に重点を置き、事業を進めています。

市内の水道管は、約880km。昭和40年代に整備した管が老朽化していることから、順次耐震管への更新を行っています。平成27年度末における基幹管路（口径400mm以上の配水管など）の耐震化率は、20・2％となっています。

特に、中新田配水場の配水場のうち最大規模

水道庁舎の機能

災害などに際して、水道事業における拠点となるのは水道庁舎です。水道庁舎には、停電が発生しても、危機対策上必要なシステムや通信機器が使用できる自家発電機などを備えています。

また、庁舎は、4箇所の水の大切さや安全で安



基幹管路の耐震化



昨年の親子施設見学会

心な水道水への取り組みについて、より市民の皆様知っていただくために、広報やいづ、ホームページや施設見学会などにPRを行っています。

市の取り組みやお知らせ、水質検査結果などは、水道事業ホームページ（http://suidou.yaizu.jp）に掲載していますのでぜひご覧ください。

8月の夏休み期間には、親子施設見学会を開催を計画しています。広報やいづやホームページでご案内しますので、ぜひご参加ください。

危機への対応

水道水の安全性をより高めるため、食品業界で導入されている衛生管理手法ハサップ（HACCP）のリスク管理（HACCP）を取り入れた「安全計画」など、起こり得る様々な「危機」に対応するための計画を整備しています。そして、これらに沿った訓練の実施や資機材の配備を行い、危機に対して備えています。

平成28年度地籍調査の予定区域 一色、田尻、田尻北、下小田の各一部



問合せ 土木管理課 0626-1120

地籍調査とは、市が事業主体となり、国土調査法に基づいて、土地一筆も、地籍調査の結果により、早期の復旧、復興に目などを調査し、境界の位置と面積に関する測量を行い、その結果を基に地籍図や地籍簿を作成し、土地の情報を明確にするものです。

この調査結果は、地震や津波などの災害の復旧、土地取引の円滑化などに役立つものです。

※説明会の日時や会場など、詳しくは決まり次第、対象者に通知します。

市立総合病院が医療体制を強化 医師スタッフと治療装置を充実

市立総合病院は、良質な医療をみなさまに提供する病院であり続けるために、医療スタッフの充実を図るとともに最新の医療機器を導入し高度医療の強化に取り組んでいます。

今年度、常勤麻酔科医師など医師数が増加し、また高度医療機器である放射線治療装置（リニアック）の更新を行うなど、ソフト・ハード両面に渡り、引き続き医療体制の強化を図ります。

問合せ 市立総合病院総務課 0623-3111

診療体制を着実に強化 常勤医師は86人

今年4月に総合診療内科1人、消化器内科2人、小児科1人、産婦人科1人として待望の麻酔科1人がそれぞれ増え常勤医師が86人となりました。全国的に医師不足となった平成21年当時の68人から

も18人増加し、平成18年当時と同じ人数になっています。これに、臨床研究指す医師を研修させることのできる基幹施設に合わせた。また、市立総合病院の特色である小児周産期分野では、地域周産期母子医療センターとしての診療体制が更に強化されています。

なかでも、総合診療内科、腎臓内科、泌尿器科は、院内の病院の中でも総合診療科の医師数です。

がん診療機能の強化 最新装置を導入

最新型の放射線治療装置を導入し、いよいよ7月から稼働します。放射線治療は、手術、化学療法（抗がん剤を用いた治療）と並び、がんの3大治療法のひとつで、手術のように身体を切ったりしない治療法です。放射線治療単独で行うこともあれば、手術、化学療法と併用して行うこともあります。

新しくなった装置の大きな特徴は、治療の開始直前に放射線治療装置でCT（コンピュータ断層撮影装置）画像を取得することができ、治療する部位と放射線を照射する位置をより正確に確認することが出来るようになります。



今回導入された最新型放射線治療装置

オープニングセレモニーと内覧会に参加できます

日時 6月24日(金)午後3時～5時

不要、市立総合病院にお越しください。

高度医療体制の整備 機器の有効活用

高度な医療体制を整備するために、近年においては、平成24年度に精密なCTと乳房エコー（乳房超音波検査装置）、25年度にマンモグラフィ（乳房X線撮影装置）、そして27・28年度の2カ年放射線治療装置を更新し計画的に整備を行っています。

そして、地域医療支援病院としてCTやエコーなどの検査機器を地域の医療機関において共同利用していたいでいます。また、乳房エコーとマンモグラフィを利用した乳がん検診にも力を入れています。

高校生のための市立総合病院職場体験 高校生集まれ！オープンホスピタル

病院に関わることに少しでも興味のある高校生のための体験事業です。普段見ることができない病院内の施設見学や実際に働いている病院職員から仕事の内容や進路についての質問などができる貴重な機会です。お気軽にご参加ください。

日時 8月5日(金) 午前8時30分～午後3時30分

会場 市立総合病院（制服でお越しください）

職種 診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、薬剤師、視能訓練士、歯科衛生士、診療情報管理士、社会福祉士

内容 プレゼンテーション、職場見学、職場体験、座談会など

持ち物 昼食（院内の食堂や売店も利用可）

申込方法 6月30日(木)までに電話で、住所・氏名・連絡先・高校名・学年・希望職種・白衣のサイズ（S・M・L）を連絡する

※医師を希望する人は、下記へ問い合わせてください。

※看護師を希望する人は、自分の高校へ申し込んでください。

申込・問合せ先 市立総合病院病院総務課 0623-3111

6月25日(土)～9月4日(日) 青峯プールオープン

左記期間中、8月13日(日)は休業します。

時間 午後2時～5時

※土日・祝日と7月16日～8月31日までは、午前9時～午後5時に延長します。

入場料（2時間） 大人300円、16歳未満150円、3歳未満無料

※小学2年生以下の子どもの付き添いで水着を着用していない方は申請により減免（無料）。

問合せ 青峯プール（オープン期間のみ） 0629-7811

スポーツ振興課 0628-5740

相談室 暮らしなんでも相談ダイヤル(電話相談) 日常生活で起こるトラブルや悩みごとなどを相談できます。 日時 月～金曜日(祝日を除く) 午前9時～午後5時 相談無料 電話相談先・問合せ ライフサポートセンターしずおか しいはいばら事務所 0646-6055

ネットで予約可能 プレミアム乳がん検診

市立総合病院では、女性の乳がんの早期発見・早期治療のため、市民が検診とは別に「マンモグラフィ・精密マンモグラフィ（トモシンセシス）・エコーをどれも受けられるプレミアム乳がん検診を行っています。

この検診は、ご自分で乳がん検診方法を選択できるほか、医師による触診がない、女性医師による検査であることが特徴です。

インターネットで申し込む場合は、市立総合病院のホームページから、電話で申し込む場合は、午後3時30分～4時に健康管理センター 0623-3111(代)で。

※検査コース、料金などはホームページをご覧ください。

平成29年4月1日採用 市立総合病院職員を募集

募集期間 6月30日(木)まで(消印有効)

試験日 7月24日(日)

申込書 「職員採用試験案内」は、市役所本館市立総合病院ホームページからも取得可能。郵送で請求する場合は、次のとおりです。①封筒の表に「職員採用試験案内請求」と朱書きする。②宛先を明記して120円切手を貼った返信用封筒(角2)を同封する。③受験希望の職種を明記して申込・問合せ先 0425-18505 道原100-0 市立総合病院病院総務課 0623-3111(代)

相談室 県精神保健福祉センターの健康相談 日 6月13日(月)・27日(月) 薬物依存相談 日 6月7日(火)・21日(火) 自死遺族支援個別相談 日 6月1日(水) 【共通】 開設時間 午後1時～4時 要予約 会場・予約・問合せ 県精神保健福祉センター 0286-9245

焼津市公共交通市民分科会委員を募集

自主運行バスなど市民の日常生活に必要な公共交通手段を協議する「焼津市地域公共交通市民分科会」の委員を募集します。

応募資格 下記の条件をすべて満たす人

- 市内在住で、応募時の年齢が18歳以上
- 公共交通に関心が高い
- 平日の日中(開催される会)に出席できる

定員 2名程度

任期 9月8日から2年間

応募方法 応募用紙に必要事項を記入の上、応募の動機や公共交通に関することなどを簡潔にまとめ、持参、郵送またはメールで申し込む

※応募用紙は都市計画課で配布するほか、市ホームページからもダウンロードできます。

審査 行政参画意欲、公共交通に対する関心の高さなどについて書類審査を行います

応募期間 6月6日(月)～7月6日(水)

(必着) 応募にあたっての注意

- 受理した書類は返却しません
- 委員の地位を政治、営利又は宗教上の目的に利用してはなりません

応募・問合せ 0425-8502 本町5-6-1 都市計画課(市役所アトレ庁舎) 0626-2166

toshikei@city.yaizu.lg.jp

第1回市地域公共交通会議を傍聴できます

日時 6月23日(木) 午後2時～3時30分

会場 焼津公民館 会議室5・6

内容 平成27年度市内バス路線の運行実績ほか

定員 10人(定員を超えた場合は抽選)

申込不要 (当日の午後1時30分～1時50分の間に直接会場にお越しください)

問合せ 都市計画課 0626-2166

母子家庭等医療費助成制度 医療費の自己負担分を助成

対象 20歳未満の児童を扶養している母子(父子)、家庭の母(父)または配偶者に重い障害のある家庭の母(父)とその児童・両親のいない児童

条件 扶養している本人と同居の家族に所得税が課されていないこと

対象税 所得税については、平成22年度税制改正により年少扶養控除などが廃止されましたが、本制度は廃止前の計算方法で所得税を再計算し判定します。

受付期間 6月30日(木)

受付場所 ●子育て支援課(市役所アトレ庁舎1階) ●大井川市民サービスセンター(市役所大井川庁舎1階)

持ち物 印鑑、保険証、振込先の預金通帳など

※平成28年1月2日以後に焼津市に転入した人は、平成27年中の所得が分かる書類(源泉徴収票や確定申告書の控えなど)が必要で、※助成を受けている人も更新手続きが必要。す。

問合せ 子育て支援課 0626-1137

相談室 海の子山の子交流教室 対象「海の体験」と「山の体験」の両方に参加できる市内在住の小学4・5年生

海の体験 日時 8月18日(木)・19日(金) (1泊2日。宿泊先は焼津青年の家)

山の体験 日時 平成29年5月下旬(1泊2日。宿泊先は川根本町)

内容 ハイキングやダム見学・トロッコ列車体験乗車など

定員 男女各10人(申込多数の場合は抽選)

参加費 海、山の体験各2千円

申込方法 必要事項(住所氏名(ふりがな)、学校名・学年・クラス・性別・保護者名、電話番号・食料アレルギーの有無と配慮が必要な食べ物を)を明記し、郵送またはファクスで申し込む

締切日 6月13日(月)(必着)

申込・問合せ 0421-0205 宗高900 社会教育課 0621-0570 0621-0630

相談室 ガッテン本! 本日は予防できる認知症 認知症が予防できることを知っていますか? 介護予防のため、今できることを考えましょう。

日時 7月5日(火) 午後7時～9時(受付は午後6時30分)

会場 焼津文化会館ホール

テーマ ガッテン本! 本日は予防できる認知症。あなたはその秘訣を知っていますか?

申込不要 定員 400人

問合せ 健康増進課 0627-4111